

内臓機能生理学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Soejima S, Wu CH, Matsuse H, Terakado M, Okano S, Inoue T, Kumai Y: Swallowing-related muscle inflammation and fibrosis induced by a single dose of radiation exposure in mice. *Laboratory Animal Research* 40(1): 2024. doi: 10.1186/s42826-024-00199-2.
2. Peter JK, Umene R, Wu CH, Nakamura Y, Washimine N, Yamamoto R, Ngugi C, Linge K, Kweri JK, Inoue T: Renal macrophages induce hypertension and kidney fibrosis in Angiotensin II salt mice model. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 715: 149997, 2024. doi: 10.1016/j.bbrc.2024.149997.
3. Yang A, Wu CH, Matsuo S, Umene R, Nakamura Y, Inoue T: Activation of the α 7nAChR by GTS-21 mitigates septic tubular cell injury and modulates macrophage infiltration. *International Immunopharmacology* 138: 112555, 2024. doi: 10.1016/j.intimp.2024.112555.
4. Bazek M, Sawa M, Horii K, Nakamura N, Iwami S, Wu CH, Inoue T, Nin F, Abe C: Gravitational change-induced alteration of the vestibular function and gene expression in the vestibular ganglion of mice. *The Journal of Physiological Sciences* 74(1): 2024. doi: 10.1186/s12576-024-00939-y.
5. Inoue T, Umene R, Sung SJ, Tanaka S, Huang L, Yao J, Hashimoto N, Wu CH, Nakamura Y, Nishino T, Ye H, Rosin DL, Ishihara K, Okusa MD: Bone marrow stromal cell antigen-1 deficiency protects from acute kidney injury. *American Journal of Physiology. Renal Physiology* 326(2): F167-F177, 2024. doi: 10.1152/ajprenal.00175.2023.
6. Urakami H, Yoshikawa S, Nagao K, Miyake K, Fujita Y, Komura A, Nakashima M, Umene R, Sano S, Hu Z, Nishii E, Fujimura A, Hiyama TY, Naruse K, Karasuyama H, Inoue T, Tominaga M, Takamori K, Morizane S, Miyake S: Stress-experienced monocytes/macrophages lose anti-inflammatory function via β 2-adrenergic receptor in skin allergic inflammation. *The Journal of Allergy and Clinical Immunology* : 2024. doi: 10.1016/j.jaci.2024.10.038.

B 邦文

B-c

1. 梅根隆介,井上 剛 : 【急性腎障害の最新トレンド】急性腎障害の病態と神経-免疫連関による新規治療アプローチの展望. *臨床透析* 40(4): 367-374, 2024.
2. 中村恭菜 : 腎臓におけるアセチルコリン産生細胞の同定とその意義の解明. *長崎県医師会報* (938): 2024.
3. 梅根隆介,井上 剛 : 特集 急性腎障害の最新トレンド 3.急性腎障害の病態と神経-免疫連関による新規治療アプローチの展望. *日本メディカルセンター* : 2024.

B-e-1

1. 松尾さゆみ,WuChia-Hsien,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 障害後の副交感神経刺激による抗炎症効果の検討. *日本生理学雑誌* 86(2): 11, 2024.
2. 橋本典樹,WuChia-Hsien,中村恭菜,梅根隆介,井上 剛 : 腎臓線維化におけるBst1の機能解明. *日本生理学雑誌* 86(2): 8-9, 2024.
3. 鷲峯紀人,KasyokiPeterJoseph,梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 神経-免疫系を介した血圧制御・腎線維化メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌* 66(4): 627, 2024.
4. 梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : オプトジェネティクスを活用した腎交感神経制御による腎保護メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌* 66(4): 595, 2024.
5. 橋本典樹,WuChia-Hsien,中村恭菜,梅根隆介,井上 剛 : 腎臓線維化におけるBst1の機能解明. *日本生理学雑誌* 86(2): 8-9, 2024.
6. 松尾さゆみ,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 炎症惹起後の副交感神経刺激による抗炎症効果・腎保護効果の検討. *日本腎臓学会誌* 66(4): 624, 2024.
7. 副島駿太郎,吳 家賢,井上 剛,熊井良彦 : 気管支肺胞洗浄液の解析による放射線関連嚥下障害モデルマウスの検討. *日本生理学雑誌(Web)* 86(2): 2024.
8. 梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : オプトジェネティクスを活用した腎交感神経制御による腎保護メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌(Web)* 66(4): 2024.
9. 鷲峯紀人,JOSEPHKasyokiPeter,梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 神経-免疫系を介した血圧制御・腎線維化メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌(Web)* 66(4): 2024.
10. 松尾さゆみ,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 炎症惹起後の副交感神経刺激による抗炎症効果・腎保護効果の検討. *日本腎臓学会誌(Web)* 66(4): 2024.
11. WUChia-Hsien,井上 剛 : 長鎖lncRNAによる動脈硬化進展抑制機構についての検討. *日本生理学雑誌(Web)* 86(2): 2024.
12. YANGAobing,WUChia-hsien,INOUEtsuyoshi : GTS-21によるコリン作動性抗炎症経路の活性化はマウスにおけるLPS誘発急性腎障害を減弱させる. *日本生理学雑誌(Web)* 86(2): 2024.
13. 鷲峯紀人,KasyokiPeterJoseph,梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛 : 神経-免疫系を介した血圧制御・腎線維化メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌* 66(4): 627, 2024.

14. 梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛: オプトジェネティクスを活用した腎交感神経制御による腎保護メカニズムの解明. 日本腎臓学会誌 66(4): 595, 2024.
15. 橋本典樹,WuChia-Hsien,中村恭菜,梅根隆介,井上 剛: 腎臓線維化におけるBst1の機能解明. 日本生理学雑誌 86(2): 8-9, 2024.
16. 梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛: オプトジェネティクスを活用した腎交感神経制御による腎保護メカニズムの解明. 日本腎臓学会誌(Web) 66(4): 2024.
17. 鷲峯紀人,JOSEPHKasyokiPeter,梅根隆介,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛: 神経-免疫系を介した血圧制御・腎線維化メカニズムの解明. 日本腎臓学会誌(Web) 66(4): 2024.
18. 松尾さゆみ,吳 家賢,中村恭菜,西野友哉,井上 剛: 炎症惹起後の副交感神経刺激による抗炎症効果・腎保護効果の検討. 日本腎臓学会誌(Web) 66(4): 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	4	1	1	16

社会活動

氏名・職	委 員 会 等 名	関 係 機 関 名
井上 剛・教授	日本生理学会	評議員
井上 剛・教授	日本腎臓学会	JSN Next Frontiers 2028 委員会
井上 剛・教授	文部科学省	学術調査官
井上 剛・教授	日本腎臓学会	評議員
井上 剛・教授	日本腎臓学会	基礎研究推進小委員会
井上 剛・教授	日本腎臓学会	JSN Next Frontiers 2028 委員会 委員長
井上 剛・教授	日本病態生理学会	評議員
井上 剛・教授	日本腎臓学会	症例評価委員会
梅根隆介・助教	日本腎臓学会	JSN Next Frontiers 2028 委員会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
井上 剛・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「オプトジェネティクスの技術を活用した腎交感神経の機能解明」
井上 剛・教授	公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団	代表	医学分野プロジェクト研究助成 「神経系-免疫系を介した塩分感受性高血圧制御メカニズムの解明」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 「特発性多中心性キャッスルマン病の病型をクラスタリングする分子基盤研究」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「マクロファージのヒエラルキー決定によるMRONJ病因解明と新規治療法開発基盤構築」
井上 剛・教授	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	代表	研究助成 「脳腎連関を介した腎疾患制御機構」
井上 剛・教授	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団	代表	開発助成 「抗炎症・臓器保護効果発揮を目指した超音波刺激装置の開発」
井上 剛・教授	公益財団法人 喫煙科学研究財団	代表	研究助成 「尿細管細胞におけるニコチン受容体の機能解明」

井上 �剛・教授	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)	代表	創発的研究支援事業 「アセチルコリンで切り拓く新たな恒常性維持機構の解明」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「食事性神経-免疫系の活性化で目指す誤嚥性肺炎の予防・軽減と健康寿命延伸戦略」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「マクロファージのヒエラルキー決定によるMRONJ病因解明と新規治療法開発基盤構築」
WUCHIA HSIEN・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「動脈硬化好発領域における新規lncRNAの役割解明および機能解析」
梅根隆介・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 「オプトジェネティクスを用いた腎交感神経刺激による腎保護メカニズムの解明」
梅根隆介・助教	公益財団法人 鈴木謙三記念医学応用研究財団	代表	調査研究助成 「オプトジェネティクスを活用した腎臓交感神経制御による新規腎臓病治療法の開発」
梅根隆介・助教	公益財団法人 金原一郎医学医療振興財団	代表	基礎医学医療研究助成金 「腎交感神経の光遺伝学的制御手法を活用した新規腎臓病保護機構の解明」
梅根隆介・助教	公益社団法人 日本透析医会	代表	公募研究助成 「副交感神経を介した高塩分負荷に対する腹膜保護メカニズムの解明」
梅根隆介・助教	長崎大学	代表	CHODAI共創グラント 「迷走神経を介した腹部超音波刺激による腎臓保護メカニズムの解明と革新的治療法の開発」
中村恭菜・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「腎臓線維化の抑制に関する新規因子Bst1の腎臓での発現・作用機序を明らかにする」
井上 剛・教授	日清紡マイクロデバイス社	生体内呼吸音・心音聴取マイクの開発	

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
井上 剛・教授	非常勤講師 (生理学)	神戸大学医学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
井上 剛・教授	長崎大学リレー講座：未来の医療に活かす半導体技術	長崎新聞	2024年12月6日	医工連携の現状について説明を行った。

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
梅根隆介・助教	日本生理学会九州奨励賞	第75回西日本生理学会	光遺伝学を用いた腎交感神経の特異的制御による新規腎保護メカニズムの解明
梅根隆介・助教	Young investigator賞・優秀賞	第30回日本腹膜透析医学会	Anti-inflammatory and peritoneal protective mechanisms against peritoneal dialysis-related peritonitis via cholinergic anti-inflammatory pathways
梅根隆介・助教	最優秀演題賞	第14回腎不全研究会	オプトジェネティクスを利用した腎交感神経の光制御による急性腎障害保護メカニズム